

ルミスパンスTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

Corteva AgriscienceTM は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ルミスパンスTMFS

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com
FAX番号 : 03-3519-3370

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

ルミスパンス™FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2022/08/29
1.1 2022/10/24 800080100752 初回作成日: 2022/08/29

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
トリフルメゾピリム	1263133-33-0	42.9	8-(2)-2711

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、影響があれば医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : 大量の水で洗眼する。1~2分洗眼してからコンタクトレンズをはずし、さらに数分洗い続ける。物理的な影響のみであると予想される。影響がある場合は、医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。
- 飲み込んだ場合 : 緊急医療措置は必要ない。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
- 使ってはならない消火剤 : 直接棒状放水しない。
大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
蒸気は空気と混合して爆発性になることがある。
かなりの距離にわたり逆火が考えられる。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NOx)
炭素酸化物
- 特有の消火方法 : 区域から退避させること。

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

- 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
火が消えて再発火の危険がなくなるまで、水スプレーを用いて火に曝された容器および火災の影響を受けた領域を冷却する。
棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴具及び緊急時措置
器具及び緊急時措置
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
機材
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
防爆用工具を使用しなければならない。
漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。
ガス/蒸気/ミストを水スプレーで抑える（除去する）。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
局所排気, 全体換気 : 局所換気を行い使用する。

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

- 安全取扱注意事項** : エアゾールの発生を避けること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
容器を密閉しておくこと。
熱や発火源から遠ざける。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避** : 強酸
強塩基類
- 保管**
- 安全な保管条件** : 密閉容器に保管すること。
禁煙。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質** : 強酸化剤
爆発物
ガス
- 安全な容器包装材料** : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

- 設備対策** : 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

- 呼吸用保護具** : 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。

手の保護具

- 備考** : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム。天然ゴム(ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたは

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

- NBR)。ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。
- 眼の保護具 : 安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。
 眼の不快感を引き起こす粒子に暴露する可能性がある時は、ケミカルゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粘性のある、液体
- 色 : 黄赤色
- 臭い : 塗料
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点, 初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (液体) : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
 爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし
- 引火点 : > 99 ° C
 方法: ペンスキーマルテンス密閉式引火点試験
- 自己発火性 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 8.06 (21.2 ° C)
- 自然発火点 : データなし
- 粘度
 粘度(粘性率) : データなし

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

動粘度 (動粘性率) : データなし

溶解度
溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし
(log 値)

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度
密度 : 1.1987 g/mL (20 ° C)

相対ガス密度 : データなし

爆発特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。

化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。

危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。

避けるべき条件 : 知見なし。

混触危険物質 : 強酸
強塩基類

危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO_x)
炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.31 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 436

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

成分:**トリフルメゾピリム:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.04 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: この濃度では死に至らない。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性**製品:**

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**製品:**

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

試験タイプ : 局所リンパ腺評価
種 : マウス
アセスメント : 皮膚感作性なし。
方法 : OECD 試験ガイドライン 429

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

成分:

トリフルメゾピリム:

備考 : 皮膚感作性 :
モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
関連のあるデータは得られていない。

生殖細胞変異原性

成分:

トリフルメゾピリム:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった, In vivo 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。

発がん性

製品:

発がん性 - アセスメント : 動物実験では発がん性への影響は見られなかった。

生殖毒性

成分:

トリフルメゾピリム:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

成分:

トリフルメゾピリム:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器

ルミスパンスTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

毒性（反復ばく露）を示さない。

反復投与毒性**成分:**

トリフルメゾピリム:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性**製品:**

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

トリフルメゾピリム:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 固定化
方法: OECD 試験ガイドライン 202

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 62.5 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 固定化
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルナタム)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ルミスパンス™FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2022/08/29
1.1 2022/10/24 800080100752 初回作成日: 2022/08/29

地上生物に対する毒性 : LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): 3,248 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 223

成分:**トリフルメゾピリム:**

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 122 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 9.7 mg/l
曝露時間: 88 d
試験タイプ: 流水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 14 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : Not regulated for transport
国連輸送名 (Proper shipping name) : Not regulated for transport
国連分類 (Class) : 0
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : Not regulated for transport
国連輸送名 (Proper shipping name) : Not regulated for transport
国連分類 (Class) : 0
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当
(Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

非該当

2023 年 4 月 1 日から

ルミスパンス™FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/08/29
1.1	2022/10/24	800080100752	初回作成日: 2022/08/29

非該当

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA